

## 別紙

NECとコーヒー豆専門店のやなか珈琲店は、AI(人工知能)とカップテスターのコラボレーションにより、名作文学の読後感をコーヒーの味わいで再現したブレンドコーヒー「飲める文庫」を新たに開発しました。本紙は、各タイトルの分析結果と味わいの詳細情報です。

タイトル/作者	パッケージ	レーダーチャート	コーヒーの説明
「若菜集」 島崎藤村			<b>コーヒー豆 :</b> タンザニア/コロンビア/ニカラグア <b>ロースト :</b> ミディアムロースト 代表作「初恋」をはじめとした、叙情的世界を開花させた島崎藤村の第一詩集をコーヒーに。タンザニア産のはのかな甘味を伴った酸味にコロンビア産の滑らかなコクをプラス。青春のみずみずしい感情を思いだす、藤村の詩を再現した、爽やかな酸味とクリアな味わいが特徴のコーヒーです。
「人間失格」 太宰治			<b>コーヒー豆 :</b> コロンビア/ブラジル/ペルー <b>ロースト :</b> フルシティロースト 人を理解することができず、ついに自らに「人間失格」の烙印を押してしまう主人公の物語をコーヒーに。高地産アラビカ種などをベースに、スムーズな飲み口のペルー、スッキリとした苦味のブラジルをブレンド。淡々と語られる人間の弱さを、滑らかな口当たりで飲み易く、質の高い豊かな苦味で表現しました。
「吾輩は猫である」 夏目漱石			<b>コーヒー豆 :</b> コスタリカ/ブラジル/グアテマラ <b>ロースト :</b> シティロースト 主人とその書斎に集まる個性的な人々の人間模様を、「吾輩」という猫の視点で描いた漱石の代表作をコーヒーに。クリアで高品質なコーヒー産地コスタリカの豆にブラジルとグアテマラの豆を加え、風刺的でおかしみのある猫の語りを、ほろ苦さと甘味、香ばしくキレのある後味で再現しました。
「こころ」 夏目漱石			<b>コーヒー豆 :</b> インドネシア/ブラジル/グアテマラ <b>ロースト :</b> イタリアンロースト 愛のために友を裏切った過去の罪を背負い、囚われつづけた男の物語をコーヒーに。質感の高い濃厚なボディのインドネシア産マンデリンにブラジルのキレのある苦味をプラス。まとまりのある深いコクと満足感のあるボディから、誰のこころにも潜み、いざというときに現れる苦々しい人間の工ゴが垣間見えてきます。
「三四郎」 夏目漱石			<b>コーヒー豆 :</b> エチオピア/コロンビア <b>ロースト :</b> ミディアムロースト 田舎から上京した青年が抱いた、淡い恋の物語をコーヒーに。ナチュラル処理したエチオピア産の明るい酸味に、コロンビア豆の質の違う柔らかな酸味をプラス。苦味を抑えた味わいに。芳醇な赤ワイン思わせる風味にひそむ心地よい甘さが、思わずぶりな女性に翻弄される甘酸っぱい青春の日々を思い起させます。
「舞姫」 森鷗外			<b>コーヒー豆 :</b> ブラジル/グアテマラ/東ティモール <b>ロースト :</b> フレンチロースト 留学先で知り合った踊り子との恋愛と、自らの将来との間で揺れ動く主人公のロマンスをコーヒーに。伝統的な味わいになるよう非水洗処理したブラジル豆に、甘味の強い東ティモール産をプラス。美しい文体で描かれた若い恋が、チョコレートの様な甘味と滑らかでソフトなボディでよみがえります。